



たきざわ市議会だより

開かれた議会 市民とともに歩む議会 行動する議会

第5号

平成 27 年 3 月 15 日
発行責任者：滝沢市議会議長
編集：広聴広報常任委員会



学童保育連絡協議会との市民懇談会

テーマ「滝沢市内の学童保育の現状と課題」



- 期日／平成 27 年 1 月 30 日（金）
- 場所／第一篠木なかよしクラブ
- 出席者／滝沢市学童保育連絡協議会、環境厚生常任委員会

学童保育連絡協議会からの説明を受け、意見交換を行いました。懇談会で共有した多くの課題を、更に調査研究していきます。

〈交わされた意見等の抜粋〉

- 70 人を超える大規模学童について
- コミュニティ施設との兼用について
- 施設の設備について
- 委託料の削減など

滝沢市民ネットワークとの市民懇談会

テーマ「議会への市民参加」



- 期日／平成 27 年 2 月 24 日（火）
- 場所／滝沢市役所 防災庁舎
- 出席者／滝沢市民ネットワーク、議会運営委員会

議会への市民参加に関連して、現在募集している「議会サポーター」「議会モニター」の募集について、市民目線での率直なご意見をいただきました。また議員をしていてうれしい事という質問があり、議員それぞれの思いを伝え、議会への関心を深めていただきました。最後に、少しでも議会を身近に感じていただこうと、議場での議会生中継の説明や、議長席からの全景体験などの見学をしていただきました。

〈交わされた意見等の抜粋〉

- 議会への市民参加について
 - ・若い世代の参加を望みたい
 - ・議会・議員と聞くと、なかなか気軽に行けない
- 議員をしていてうれしい事は
 - ・たくさんの方に会えること
 - ・さまざまな情報を多く取り入れる事ができたこと

市民懇談会を開催しました！

滝沢市自治会連合会との市民懇談会

テーマ「地域づくり」



- 期日／平成 27 年 1 月 22 日（木）
- 場所／滝沢市役所 大会議室
- 出席者／滝沢市自治会連合会役員、総務教育常任委員会

まちづくり推進委員会や地域づくり懇談会のことなど、これからの地域づくりについて話し合いました。議会では、今回話し合った事柄を参考として、地域づくりについて更に調査研究していきます。

〈交わされた意見等の抜粋〉

- 今後、まちづくり推進委員会はどうあるべきか
 - ・一自治会一委員会が理想ではないか
 - ・人材確保が難しい。その点から大きな括りでいいのでは
- 議会で視察した事例の発表
 - ・秋田県湯沢市の「市職員による支援員設置」



議会基本条例シンポジウムの様子(25年10月)

滝沢市議会議員選挙迫る！

市民と語る

議会フォーラム

開催！！

滝沢市議会議員選挙について7月19日告示、26日投票が行われます。選挙に先立ち、「住民自治日本」を掲げる滝沢市において、これからの議会のあり方を考えることを目的に、市民と語る議会フォーラムを開催します。

来たる市議会議員選挙に向けて、市民の皆様や立候補を考えている皆様と一緒に、考える機会としたいと思います。ぜひご参加ください。

日時 平成 27 年 4 月 19 日（日）13 時～

場所 滝沢ふるさと交流館

内容 ●滝沢市議会アドバイザー 江藤俊明氏、佐藤淳氏の講演
●市民と議員が語り合うコーナー など

滝沢市議会議員選挙について7月19日告示、26日投票が行われます。選挙に先立ち、「住民自治日本」を掲げる滝沢市において、これからの議会のあり方を考えることを目的に、市民と語る議会フォーラムを開催します。

来たる市議会議員選挙に向けて、市民の皆様や立候補を考えている皆様と一緒に、考える機会としたいと思います。ぜひご参加ください。

市内全小中学校のトイレ改修の考えは

改修時期を考慮し進めます



新志会
山谷 仁 議員

市内小中学校のトイレの改修を進めています。学校によって改修の時期がずれています。時期を合わせた改修の考えは。

市内小中学校トイレの改修の状況は、21年度から国庫補助制度を活用

「地域づくり懇談会」が主体となつて進めることが重要です。自治会活動の総合的な窓口は、従来と同様に住民協働課です。が、この支援を行う職員は、地域の自主性と地域活動の支援を担うとともに庁内各課との連携を図るために配置します。

認知症対策と老人福祉の充実

介護する家族の負担を軽減します



会派に属さない議員
川原 清 議員

認知症の分類は、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、その他の認知症であり、その他以外で全体の70、80%を占めております。新聞では、将来的には700万人の認知症患者が出るとの報道もありまし

た。そこで伺います。
①本市の行方不明老人の実態と事故の有無は。
②老人見守り隊の結成と認知症サポーター育成策は。
③認知症防止策と居場所作りは。
④認知症患者を持つ家族への支援策は。
⑤23年には、亡くなった状態で発見された例もありました。徘徊後無事帰宅したのは25年度が3件、26年度は現時点で3件です。

②現在、自治会や民生委員の活動などで見守りをしています。
③老人の社会参加を促すために「いきいきサロン」を各地域で取り組んでいます。
④昨年から「認知症まちかど相談所」を開設して相談と支援を行っています。
⑤認知症防止策と居場所作りは、福祉除雪制度の充実の考えは。
⑥社会福祉協議会でも「結いづくり事業」や市役所職員での福祉除雪を行っています。行き届かない部分がありその克服が課題です。

交流都市・友好都市の提携による交流の考えは

目的を持った提携のあり方を検討します



春緑クラブ
日向 清一 議員

交流都市・友好都市の提携・締結の構想と必要性の考えは。
②全国の自治体の中では、都市間の文化交流や親善等を目的として提携や締結が行われています。地名や自然環境の類似性、また観光などの特徴的な分野の都市間連携推進とし

て提携にいたっています。
現在、構想はありませんが市制施行で自治体間の情報交流が増えています。
可能性について、多方面での交流への発展や災害時等における提携や協定の締結など、目的を持った提携のあり方を検討します。
交流都市・友好都市は、互いの都市を結ぶ縁をもとに提携されていますが、協定に基づく都市間交流に限定するものではなく、機会や条件に応じ

て、対応します。
②滝沢ブランド創出の推進、産業振興及び地域活性化の状況は。
③効果として、生産者の収益の向上、地域経済の活性化、地域での関心の高まりなどが期待されています。
対象となる地域資源を地域に浸透させることによりブランドを確立させ、メリットを享受するターゲットがどこにあるかを捉える必要があります。
その他の質問
学校給食について
市内産食材の消費の実態と課題は。

選挙投票率の向上対策は

若年層への調査を実施しニーズの把握に努めます



会派に属さない議員
斉藤 健二 議員

市の選挙投票率が、各選挙において毎回低下しています。投票率の向上に対する市民ニーズの把握と対策の考えは。
②市では選挙の都度市内の大学生を、選挙事務従事者として雇用し

選挙への理解と若年層の選挙啓発に努めています。
③投票率が低下する中で、期日前投票率は毎回向上しています。市民の利便性から、期日前投票所の増設の考えは。
④投票の秘密保持、消防法、システム用の専用回線、警備体制など多くの課題がありますが、現行の2施設以外も検討していきます。
⑤本市の馬の飼育農家が年々減少傾向にあるが

現状と課題及び対応策を伺います。
⑥馬の飼育農家は現在13戸で、35頭飼育しています。10年間で4戸、15頭減少しています。
⑦原因は、近年の輸入飼料の高騰が考えられます。
⑧対策は、相の沢牧野の活用、馬伝染性貧血検査の実施など、獣医師の定期訪問で病予防に努めています。
⑨また、チャグチャグ馬の保存会や市が所有している馬が、出産した仔馬を会員へ無償譲渡することと飼育農家、頭数の維持に努めます。

生産年齢人口が減少時の税収対策は

税収の向上と収納対策が重要と捉えています



会派に属さない議員
相原 孝彦 議員

少子化が進み生産人口が減少した時の税収対策は。

今後の税制改正の動向を注視して対応する必要がありますが、企業振興を更に積極的に進めることで、固定資産税や市民税の増収に結び付け、一層の収納対策の向

上が重要と捉えています。
②人口減少社会に向け今後の能取りは。
③第一次滝沢市総合計画がめざす「幸福感を育む地域環境の創出」を実現するため、市民が担う「地域別計画」と公共が担う「市域全体計画」により、市民の想いを実現します。安心して暮らすためのセーフティネットの共有と維持に向けた取り組みと、市長方針を政策、施策として展開し取り組みます。
④部活動のための学区

外就許可の考え方は。
⑤本市では、「就学指定校の変更に関する取扱要綱」を定めています。許可基準の「一に、本来就学すべき学校に希望する部活動がない場合について」を規定し、保護者が登下校時の責任を持つことや学校長の意見書を基に許可をしています。
⑥しかし、小規模校の生徒数の更なる減少につながっている状況もあり、今後、他市町村の事例や小規模校における部活動のあり方など調査研究していきます。

第一次滝沢市総合計画の重点は

幸福感を育む地域環境の創出を行動計画とします



日本共産党
桜井 博義 議員

計画は住民自治日本一を視野に、自治基本条例に沿った総合計画と思えますが、どのような点を重視し、大切にしようとしているか。

位置付けとしては「幸福感を育む地域環境の創出」を行動計画とし、

②第一次滝沢市総合計画は住民自治日本一を視野に、自治基本条例に沿った総合計画と思えますが、どのような点を重視し、大切にしようとしているか。
③「めざそう値」を評価、検証し、推移を把握したことは今後の財産となります。
④一方で蓄積されたデータの因果関係が不明確な点が挙げられます。
⑤計画の策定段階で

どのように住民の意見をまとめ上げたのか。
⑥30000人を対象にしたアンケート、自治会を対象とした懇談会、小中学校や各種団体等で毎月会議を開催し、最終的に「幸福感の一言」を完成させました。
⑦個人や法人に番号を付ける番号制度は住民にどのようなメリットがあるのか。
⑧安全性が確保されれば、書類の簡素化、社会保障・所得の把握など公平性が一層確保されます。

一般質問



下水道事業の企業会計化した場合のめざす姿は

経営指標などを活用し持続可能な下水道経営をめざします



しのめ会
武田 哲 議員

現在の下水道事業の経営状況と企業会計化に伴う採算性は。

25年度末で経費回収率（汚水処理原価に対する使用料単価）は71%です。全国の企業会計を導入していない類似団体の平均58・2%に比べよい状況です。
企業会計を導入し減価償却費を見込んだ場合、

回収率は64%になり、企業会計を導入している団体の全国平均77・1%より低い値となります。
②下水道事業には雨水事業も含まれるが、近年の多発する風水害に対し都市基盤整備における雨水事業の取り組みと進ちよく状況は、下水道事業計画の雨水計画区域74.3分のうち、整備面積は16.9分で整備率

は約23%です。
③企業会計による最大のメリットと効果とめざす姿は。
④メリットは営業成績を把握することで繰入金の算定根拠が明確になることです。効果は、資産及び事業規模を把握することで、収支計画の将来予測に係る精度の向上と施設の維持更新ができます。
⑤経営指標などを活用し、持続可能な下水道運営をめざします。

放課後児童クラブの運営方針は

27年度より条例で定める基準に沿って運営します



会派に属さない議員
柳村 一 議員

市には放課後児童クラブ（学童）が16施設あり、市内の1/4の児童に当たる約800人が利用しています。
①課題が多い学童の今後の運営方針は。
②大規模学童の解消は。
③兼用施設で運営している学童の移転は。
④各学童の施設設備の要望に対する対応は。

⑤委託料の考えは。
⑥26年9月に「滝沢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」を制定し、27年度以降市内の学童は、本条例で定める基準に沿って運営します。
⑦同じ小学校区内の学童と調整を図り、滝沢中央小学校の整備と合せて学童を開設し、解消を図ります。
⑧兼用施設で運営している学童の移転は考えていません。
⑨滝沢市学童保育連絡協議会と懇談会を開催し、

要望の中から緊急性や優先性を考慮し対応します。
⑩国の補助額に市独自加算分を合せた額としています。
⑪市独自の加算分は、人数規模に応じた基本加算額、人数割り加算額、傷害保険料加算額です。また、25年度から小規模学童に基本加算額を増額し、26年度から複数の障がい児を受入れている学童に対し、国の障がい児受入れ加算額の1/4を独自に増額しています。
⑫その他の質問
行政評価について

チャグチャグ馬コ伝承館の建築は

交流拠点複合施設に展示を検討します



一新会
長内 信平 議員

鬼越倉前神社前の駐車場の確保は。
②チャグチャグ馬コには、約3万人の観光客が訪れます。
③神社前駐車場は、馬主関係者専用の駐車場として、広く紹介でき

ると交流拠点複合施設の建築に合わせて施設内での展示場所展示方法を検討します。
②関係団体の現状と強化策は。
③同好会員は88人です。滝沢支部では、青年部を組織し後継者育成をしています。
④市の馬資源確保は。
⑤減少傾向にあり、繁殖用馬の飼育に取組み、2頭の仔馬が来年度の行進に参加予定です。

とし、観光客は、鶴飼小学校や市役所駐車場、滝沢総合公園駐車場を確保し、シャトルバスを運行しています。
②境内への公衆トイレ等の施設整備は。
③市が整備することは、政教分離の原則から難しいと考えます。
④全国に発信できるチャグチャグ馬コ伝承館を神社周辺に建築の考えは。
⑤以前、伝承館の建築を計画したが実現に至っていません。今後、広く紹介でき

⑥本市の特産品の売れ筋の上位は。
⑦滝沢はるか、滝沢スイカ、干し芋（うんまいも）、クイックス、イトクッキー等です。
⑧芋焼酎「馬芋ん」の克服すべき点は。
⑨生産者と製造業者が一体となり、安定的かつ継続的に生産及び販売を行う体制を構築することが必要です。

「千支議会議会」

テーマ：議会は世代を越えて

今年、の千支は「未（ひつじ）」です。未年の皆様が主役となり、議場で議会議会体験をしていただきます。議会議会、議会議会を通じて市政に関心を持っていただき、またその想いを聞き、市民が主役の住民自治の深化に向けて、活動が続けています。

日時

平成 27 年 5 月 10 日（日）

10 時 ～ 13 時

場所

滝沢市議会議場

参加者

12 歳からの未年の方々。

市民の皆様、ぜひご来場の上「千支議会議会」を傍聴してみませんか。

市民議会議会を開催します！

前回の市民議会議会（新成人）の様子（25 年 2 月）

調査活動報告

総務教育常任委員会

調査日／26 年 5 月 29 日、26 年 11 月 6 日

本市の男女共同参画計画「たきざわ輝きプラン」は最終年であり、新たな計画の策定の時期でもあります。進行状況の確認と新たな計画にあたり先進事例から学び、ふさわしい計画とするための提言をすべく調査を行いました。

先進事例として山形市を視察しました。山形市では「山形市男女共同参画推進条例」を制定し、男女共同参画課が中心となり「男女共同参画のまち山形」をめざして取り組みを行っています。

視察先での調査内容

市長主導での推進

23 年 9 月の市長選挙で「男女共同参画」を公約に掲げた市長が当選したことにより、25 年 4 月に「山形市男女共同参画条例」が制定されました。

この条例は、7 つの基本理念を掲げ、市民及び事業者の責務を明確にし、それぞれが連携・協力して目標の実現を目指しており、計画の推進、組織体制、実行組織を明確にすることでさまざまな事業などが実行されており、その進捗率においても非常に高い数値が出ています。

組織体制の強化

その源は組織体制です。男女共同参画推進協議会が母体となっていますが、実質、庁内に男女共同参画課があり、専門の職員がいます。

女性センターの開設

8 年に「女性センター」が開設され、15 年に男女共同参画センター「ファースト」と改称し、そこを拠点としたさまざまな事業が取り組まれています。

女性登用率の高さ

山形市は女性の登用率も高く、現在は 28・8 ですが、27 年度には 40 を目標にしています。

滝沢市の現状

本市の場合、3 つの基本的な取り組みが弱いと考えます。

①組織体制は、担当はいるが兼務であり、事業展開を行う点では弱い体制です。

②相談センターなどの拠点がなく、横断的業務の取り組みの弱さや市民が積極的に参加する場がないなど、実効性に欠けている状況にあります。

③女性の登用率が低く、事業をさまざまな角度から考えることが重要で、女性の登用率の向上が必要と考えます。

女性共同参画学習資料

「きりがやいて」

「きりがやいて」

「きりがやいて」

議決一覧

1 月第 2 回会議	議案第 1 号	平成 26 年度滝沢市一般会計補正予算（第 9 号）
	議案第 2 号	財産の処分に関し議決を求めることについて
2 月会議	議案第 1 号	滝沢市特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金条例を制定することについて
	議案第 2 号	平成 26 年度滝沢市防災行政無線施設更新整備工事請負変更契約の締結について
	議案第 3 号	平成 26 年度滝沢市立滝沢中央小学校建設用地造成工事請負変更契約の締結について

※全議案について、全員賛成で議決されました。

3 ～ 5 月 通年議会議日程

3 月 12 日（金）～ 18 日（水）	予算決算常任委員会
3 月 20 日（金）	3 月会議・議案審議
3 月 24 日（火）	議会改革推進会議
3 月 26 日（木）	各常任委員会
3 月 26 日（木）	議会改革推進会議
3 月 26 日（木）	広聴広報常任委員会
4 月 2 日（木）	広聴広報常任委員会

4 月 13 日（月）	議会運営委員会
4 月 23 日（木）	各常任委員会
4 月 23 日（木）	全員協議会
5 月 21 日（木）	議会運営委員会
5 月 21 日（木）	全員協議会
5 月 28 日（木）	各常任委員会

1 ～ 2 月議会議の傍聴者 24 名

～お知らせ～

◎ホームページで「滝沢市議会だより」や「議会議録」をご覧ください。

◎議場は市役所 4 階です。

◎日程、内容は予定であり、変更する場合があります。

傍聴におでんせ！

議会事務局

〒020-0692 岩手県滝沢市中鶴飼 55

TEL.019-656-6591

FAX.019-684-4195

http://www.city.takizawa.iwate.jp/

E-mail:gikai@city.takizawa.iwate.jp

お詫びと訂正

前号（第 4 号：平成 27 年 1 月 15 日発行）でお知らせした記事に誤りがありました。

① 6 ページの「産業建設常任委員会の視察報告」中、「千葉県袖ヶ浦市にて」の写真を、誤った写真（環境厚生常任委員会と同様のもの）を掲載いたしました。

② 6 ページの「総務教育常任委員会調査活動報告」中、2 段目のコメントが一部重複しておりました。

原因を調査した結果、①は、当委員会での最終チェック後における、印刷業者のミスによるものと判明いたしました。②は、当委員会での校正の指示内容が正しく印刷業者に伝わらなかったことが原因でありました。

広聴広報常任委員会では、以後誤りが発生しないよう、印刷業者に改善を要求するとともに、今まで以上のチェック体制の強化等の対策を講じてまいります。誤った内容の記事を掲載いたしましたことに対しまして、深くお詫び申し上げます。